

SY5-2

健診での心理社会的評価を可能とする「健やか子育てガイド」

阪下 和美

特定医療法人生仁会 須田病院

2020年4月の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令に伴い、集団での乳幼児健診は中止または延期となった。感染症流行下で持続可能な一形式である個別健診では医師が効率的に助言・指導を行う必要があった。さらにコロナ禍で社会的孤立が生じる中、健診時には親子の心理社会面の評価が望まれた。個別健診にて心理社会面の評価および助言・指導を行うツールとして「健やか子育てガイド」を厚生労働科学研究班で作成した。

3・4か月児、9・10か月児、1歳6か月児、3歳児、5歳児用の「健やか子育てガイド」を作成し、複数の医師会の協力を得て、使いやすさや内容の妥当性を検討したところ、医師および保護者から概ね好評価を得た。「健やか子育てガイド」は、心理社会面の評価および標準化された助言・指導の提供を可能とする効果的なツールであり、医師と親子の対話を促す媒体となりえると考えられた。

子どもの健やかな成長・発達のためには心理社会面の健やかさが必須である。特にコロナ禍以降、心理社会的状況の健康への影響は、以前より顕在化している。個別健診、集団健診のどちらの形式であっても、心理社会面を効率的に評価する必要はあり、「健やか子育てガイド」はその一助となることが期待される。本講演では、「健やか子育てガイド」について紹介する。